

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
物理	3	5	物理（数研出版）	リードα 物理基礎＋物理

到達目標

1. 物理的な事物・現象に対する探究心を高める。
2. 目的意識をもって観察・実験などを行い、物理的に探究する能力と態度を身につける。
3. 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につける。
4. 科学技術の在り方について意思決定するために必要な、科学的な見方や考え方を身につける。

評価の観点	評価の内容
a 関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的に授業に参加して取り組んでいるか。 教師の発問に対して、意欲的に答えているか。
b 思考・判断・表現	自然界の事象に関して、様々な観点から考察を加え、理論的に考えることができるか。 教師からの発問に対して、様々な観点から考察を加え、理論的に考えることができるか。
c 観察・実験の技能	自然界の物理現象について科学的に探求する方法を身につけたか。
d 知識・理解	自然の事物・現象における原理・法則などの基本的な知識や考え方を理解しているか。

評価の方法

各定期考査、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。

年間指導計画

前期					後期								
月	予定 時数	学習内容	評価の観点				月	予定 時数	学習内容	評価の観点			
			a	b	c	d				a	b	c	d
4	6	1編 さまざまな運動					10	15	4章 電磁誘導と電磁波		○		○
	6	1章 剛体にはたらく力のつり合い			○								
	6	2章 平面上の運動と放物運動	○			○							
	8	3章 円運動と万有引力		○				7		4編 原子		○	
5	6	4章 単振動		○			11	12	1章 電子と光				
	7	5章 運動量		○					2章 原子と原子核				○
	6	6章 気体分子の運動と圧力				○		20	総合受験対策演習（基礎）				
6	8	7章 気体の状態変化		○			12	20	総合受験対策演習（応用）				
		2編 波											
	6	1章 波の性質	○			○	1						
7	7	2章 音			○	○							
	10	3章 光	○	○									
		3編 電気と磁気											
8	15	1章 電場と電位			○	○							
9	8	2章 電流		○									
	8	3章 電流と磁場	○	○									
							計	175					

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項

- ・各授業毎に学習内容について定着させられるよう、復習を行うこと。
- ・総合受験対策演習では、国公立大学合格レベルを中心に扱いもあります。